

会津若松市における介護保険事業の分析

～ 主に類似団体との比較 ～

平成 30 年度

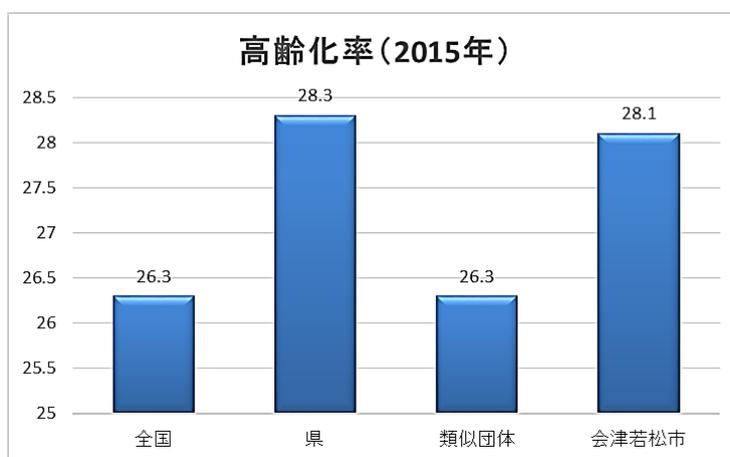
1. 概要

地域包括ケア「見える化」システムを用い、本市における介護保険事業の現状把握及び他団体等との比較による現状分析等を行い、課題を抽出するとともに今後の施策検討のための参考とする。

なお、本分析は、主として類似団体との比較を主眼として行ったものである。

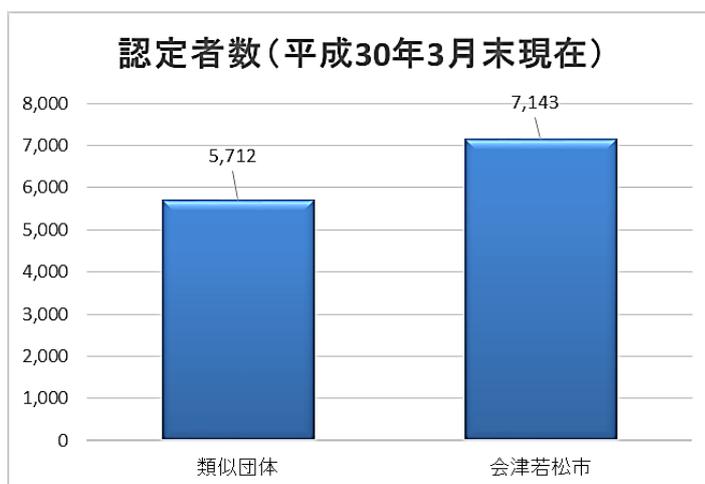
2. 高齢化率

本市における 2015 年時点での高齢化率は 28.1%と、県平均よりは若干低いものの、全国及び類似団体平均と比較すると、1.8%高い。



3. 認定者数

平成 30 年 3 月末時点における認定者数は 7,143 人と、高齢化率に比例し、類似団体平均と比べ大幅に多い。

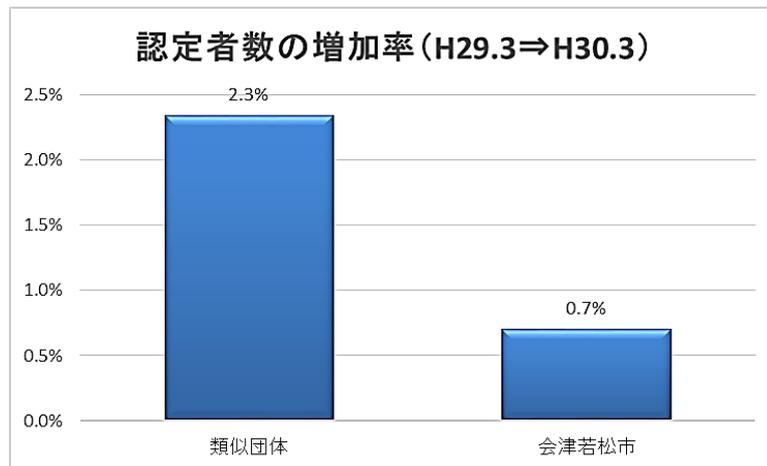


4. 認定者数の増加率

平成 29 年 3 月末時点の認定者数と平成 30 年 3 月末時点での認定者数を比較することにより、認定者数の増加率を算出した。

本市においては、増加率 0.7%と、類似団体平均 2.3%と比較し、低い状況にある。

【認定者数の推移】		
	認定者数(平成29年3月末現在)	認定者数(平成30年3月末現在)
類似団体	5,581	5,712
会津若松市	7,093	7,143

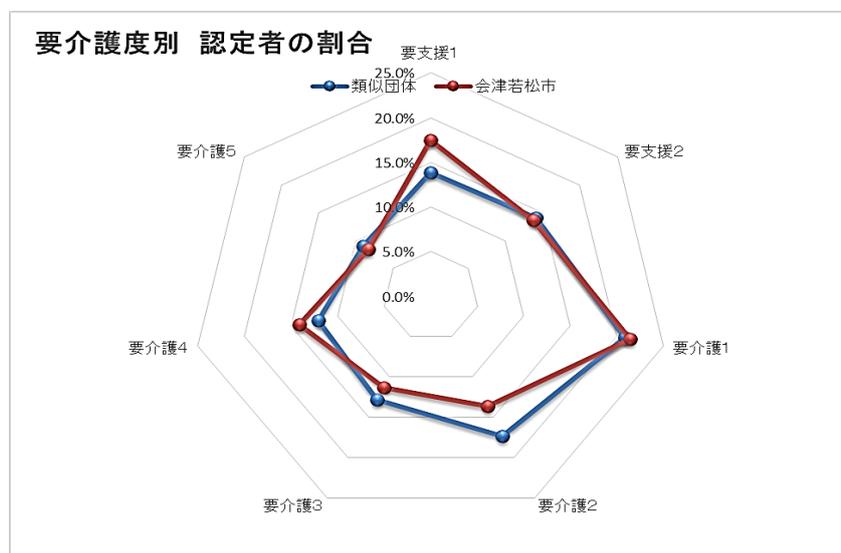


5. 要介護度別 認定者の割合

平成 30 年 3 月末時点における要介護度別 認定者の割合については、本市及び類似団体ともに要介護 1 の割合が最も多い。また、類似団体平均と比較し、本市においては要支援 1 の軽度の割合が高いものの、要介護 2、要介護 3 の中度の割合は低い。

しかし、本市においては要介護 4 の重度の割合が類似団体平均と比較し高い点が注目される。

【要介護度別 認定者の割合(平成30年3月末)】							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
類似団体	13.8%	14.1%	20.9%	17.3%	12.9%	12.0%	9.0%
会津若松市	17.4%	13.7%	21.4%	13.6%	11.3%	14.1%	8.4%

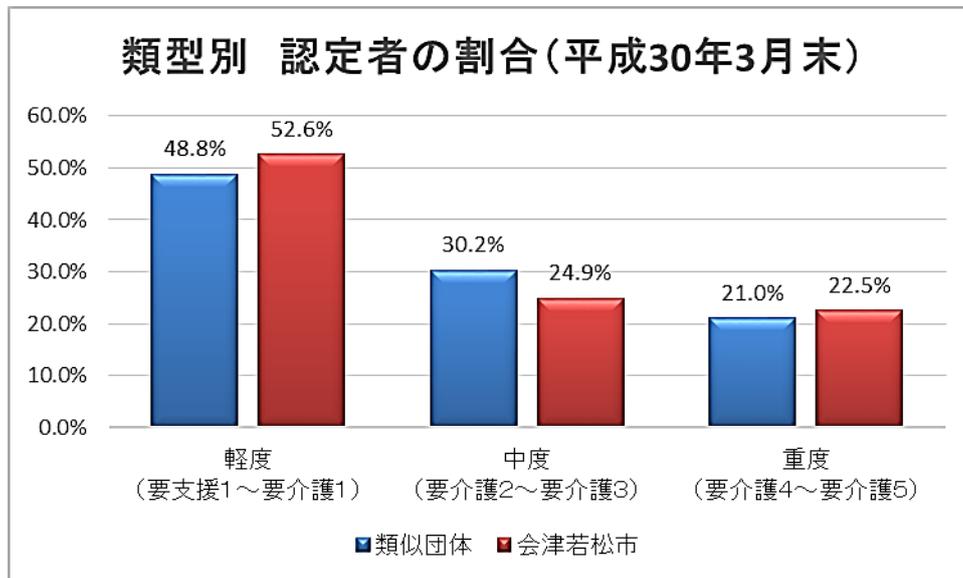


6. 類型別 認定者の割合

平成30年3月末時点における類型別 認定者の割合については、要支援1～要介護1までの軽度の割合が、本市においては52.6%と類似団体よりも3.8%高く、要介護2～要介護3の中度の割合は24.9%と類似団体よりも5.3%低い。

しかし、要介護4～要介護5の重度の割合は22.5%と、類似団体よりも1.5%高い状況となっている。

【類型別 認定者の割合(平成30年3月末)】			
	軽度 (要支援1～要介護1)	中度 (要介護2～要介護3)	重度 (要介護4～要介護5)
類似団体	48.8%	30.2%	21.0%
会津若松市	52.6%	24.9%	22.5%



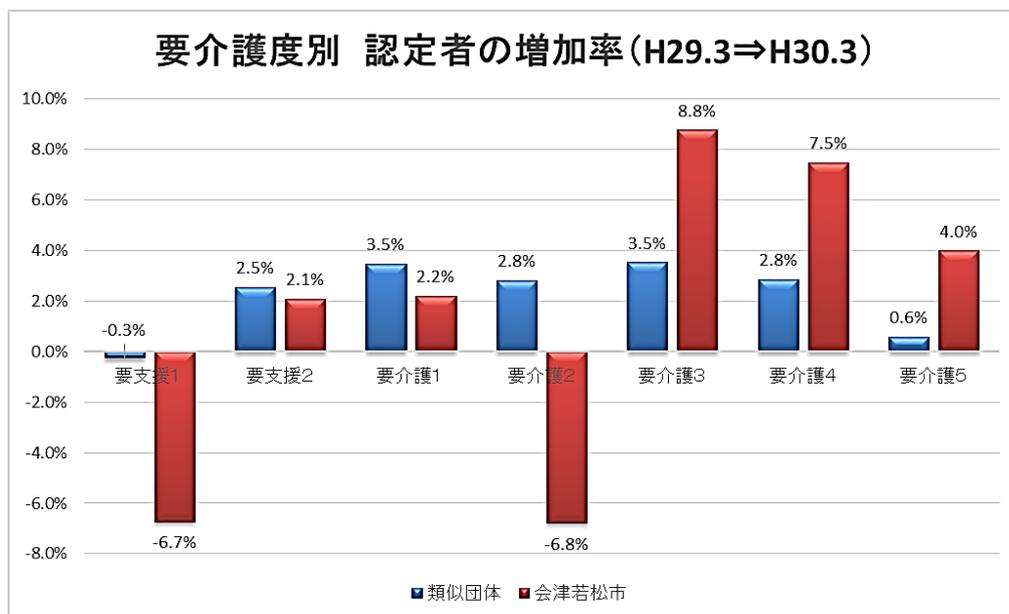
7. 要介護度別 認定者の増加率

平成29年3月末時点の認定者数と平成30年3月末時点での要介護度別認定者数を比較することにより、認定者数の増加率を算出した。

総合事業の開始に伴うものと推測されるが、要支援1の増加率については▲6.7%と大幅に減少。同様に、要介護2についても、▲6.8%と大幅に減少している。

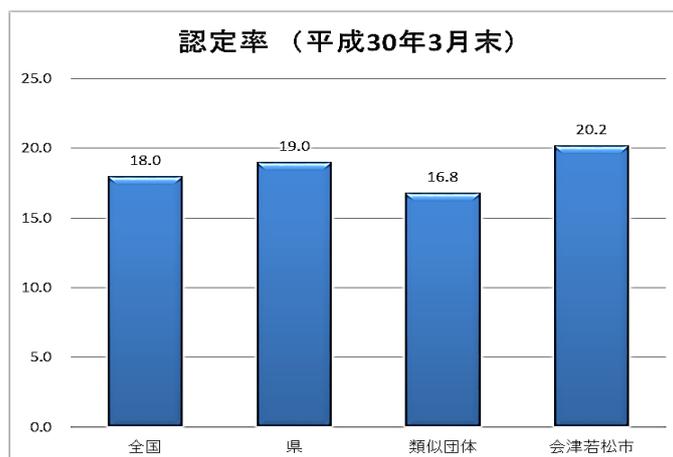
しかし、要支援1から要介護2までの比較的軽度の増加率が類似団体平均と比較し低いにもかかわらず、要介護3～5の中重度の増加率が、類似団体平均と比較し大幅に増加していることから、本市においては要介護認定者の重度化への移行が著しく、重度化防止への取り組みが大きな課題であると推察される。

【要介護度別認定者の増加率(H29.3⇒H30.3)】							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
類似団体	-0.3%	2.5%	3.5%	2.8%	3.5%	2.8%	0.6%
会津若松市	-6.7%	2.1%	2.2%	-6.8%	8.8%	7.5%	4.0%



8. 認定率

本市における認定率は20.2%と、全国、県及び類似団体平均と比べ高い。特に、類似団体平均と比較し、3.4%も高い。

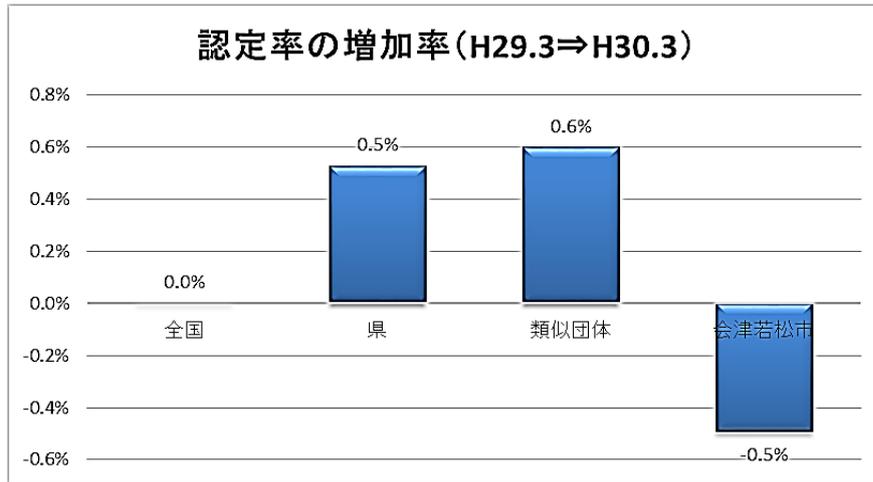


9. 認定率の増加率

平成29年3月末時点の認定率と平成30年3月末時点での認定率を比較することにより、その増加率を算出した。

本市における認定率の増加率は、認定者数の増加率が他団体平均と比較し低いと同様、▲0.5%と低い。

【認定率の推移】		
	平成29年3月末	平成30年3月末
全国	18.0	18.0
県	18.9	19.0
類似団体	16.7	16.8
会津若松市	20.3	20.2



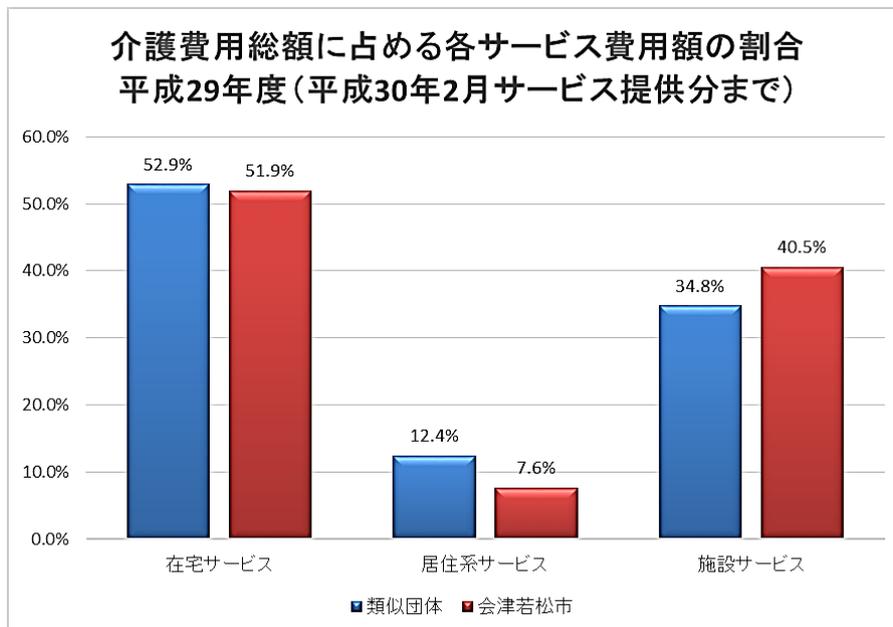
10. 介護費用総額に占める各サービス費用額の割合

本市における平成 29 年度の介護費用総額に占める各サービス費用額の割合については、在宅サービスについては類似団体との大きな差はないものの、居住系サービスの割合は 7.6%と類似団体と比較し 4.8%低く、逆に施設サービスの割合は 40.5%と類似団体よりも 5.7%高い状況である。

＜各サービスの内訳＞

在宅サービス	訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハ、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハ、短期入所、短期入所療養（老健）、短期入所療養（病院等）、福祉用具貸与、福祉用具購入、住宅改修、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知デイ、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、介護予防支援、居宅介護支援
居住系サービス	特定施設入居者生活介護（地域密着型含む）、認知症対応型共同生活介護
施設サービス	特養、老健、介護療養型医療施設

【介護費用額 平成29年度(平成30年2月サービス提供分まで)】				
	総費用額	在宅サービス	居住系サービス	施設サービス
類似団体	8,744,058,898	4,622,433,349	1,079,934,935	3,041,690,614
会津若松市	10,410,932,495	5,406,237,299	787,249,106	4,217,446,090



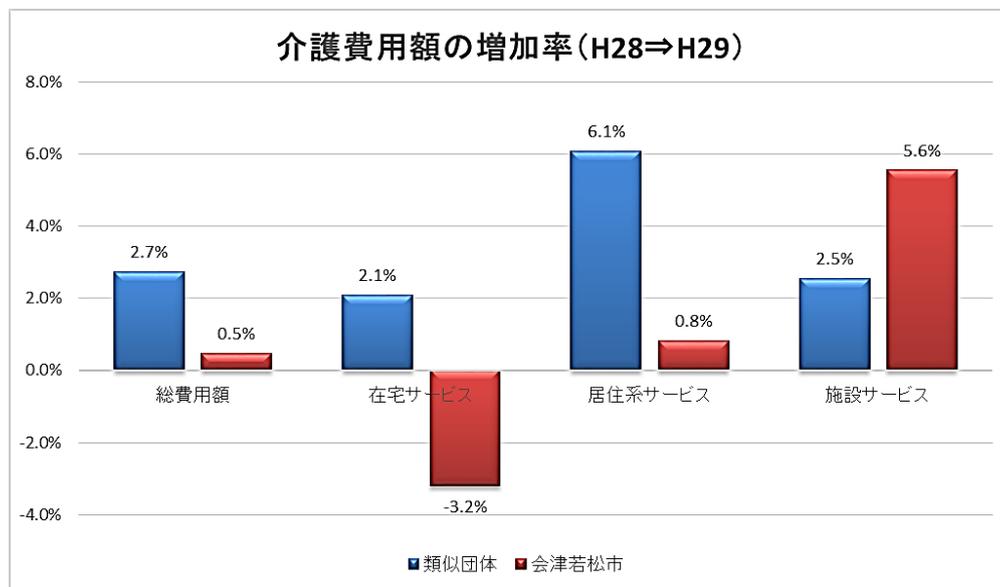
11. 介護費用額の増加率

介護費用総額に占める各サービス費用額の割合について、平成28年度（平成29年2月サービス提供分まで）と平成29年度（平成30年2月サービス提供分まで）を比較することにより、その増加率を算出した。

本市においては、総費用額、在宅サービス、居住系サービスいずれも、類似団体平均と比較し大幅に低いものの、施設サービスについては増加率5.6%と、類似団体平均の2倍以上の伸びである。

これは、市内及び近隣市町村において、平成29年度に特養の開設等施設整備が進んだことが大きな要因であると推察される。

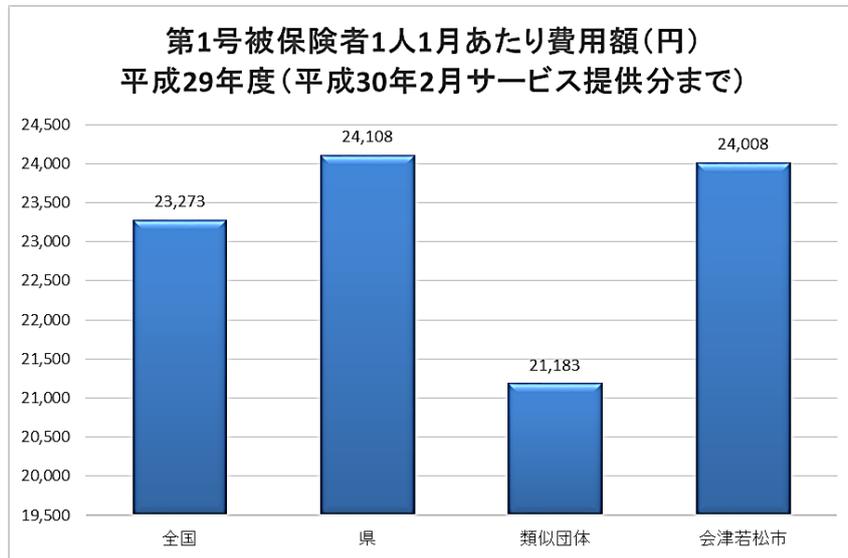
【介護費用額の推移】								
	平成28年度(平成29年2月サービス提供分まで)				平成29年度(平成30年2月サービス提供分まで)			
	総費用額	在宅サービス	居住系サービス	施設サービス	総費用額	在宅サービス	居住系サービス	施設サービス
類似団体	8,511,219,302	4,527,178,300	1,017,928,700	2,966,112,301	8,744,058,898	4,622,433,349	1,079,934,935	3,041,690,614
会津若松市	10,361,156,296	5,585,278,837	780,739,300	3,995,138,159	10,410,932,495	5,406,237,299	787,249,106	4,217,446,090



12. 第1号被保険者1人1月あたり費用額（円）

平成29年度（平成30年2月サービス提供分まで）における第1号被保険者1人1月あたり費用額については、本市は24,008円と、県平均よりは若干低いものの、全国及び類似団体平均よりは高い状況にある。

特に、類似団体平均21,183円と比較し、2,825円と大幅に高い点が注目される。



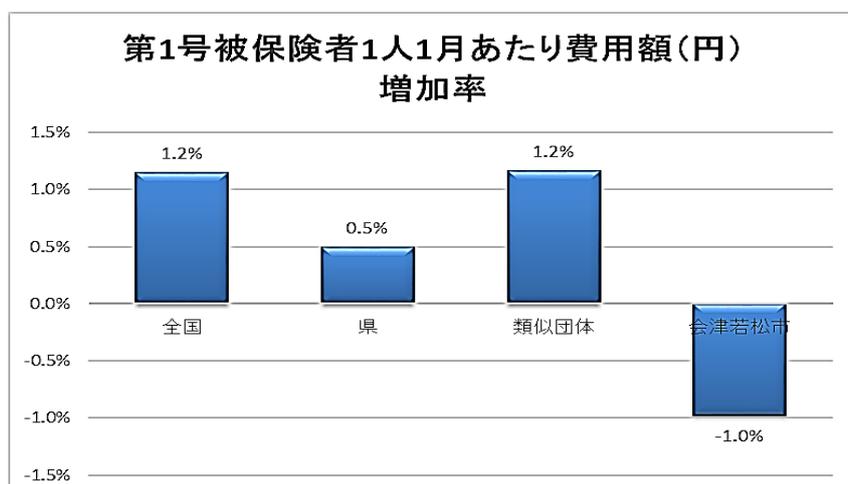
13. 第1号被保険者1人1月あたり費用額（円）の増加率

第1号被保険者1人1月あたり費用額（円）について、平成28年度（平成29年2月サービス提供分まで）と平成29年度（平成30年2月サービス提供分まで）を比較することにより、その増加率を算出した。

全国、県及び類似団体平均が増加しているなか、本市においては、▲1.0%と減少している。

第1号被保険者1人1月あたり費用額が高い本市においては、母数である第1号被保険者の伸び以上に介護費用額が伸びなかったことが要因ではないかと推察される。

【第1号被保険者1人1月あたり費用額の推移（円）】		
	平成28年度	平成29年度
全国	23,007.9	23,273.4
県	23,987.8	24,107.8
類似団体	20,939.1	21,183.1
会津若松市	24,245.5	24,008.2



14. 保険料基準額（第6期）

第6期（平成27～29年度）における介護保険料基準額については、本市においては5,850円と全国、県及び類似団体平均と比較し大幅に高い。

特に、類似団体平均5,272円と比較し、578円と大幅に高い点が注目される。

